生命を科学する　明日の医療を切り拓く

# 実験医学 別冊

2025年５月発行予定

広告掲載のご案内

**実験医学 別冊**

# マイクロバイオーム研究の達人

## ～サンプル調製からデータ解析まで、微生物叢の総体を正しく捉える技法

服部正平（早稲田大学理工学術院）

**関連キーワード**

**腸内細菌叢，メタゲノム解析，細菌培養，次世代シークエンサー，ロングリードシークエンサー，メタボローム，ゲノムワイド関連解析**

次世代シークエンサーの発展を受けますます多くの研究者がマイクロバイオーム研究に取り組む一方，データの大容量化により実験結果のクオリティがますます強く求められています．また実験の初学者にとっては，テクニカルな知識や経験の不足，実験の外製化により，データの正しい見方ができておらず不正確な結論を導き出したり，意図しない誤ったデータが出たりする場合もあるかと存じます．

より確実で信頼性の高い研究を行い，微生物叢の総体を正しく捉えるために，論文のMaterials and Methodsよりさらに踏み込んだレベルで，実験全体の戦略や起こり得る問題とその対処法までをカバーした実験書をお届けしたく，服部先生のご指導のもと本書を企画しました．

このたび，日本において本分野を牽引されてきた先生方のお力をお借りして，現行のマイクロバイオーム研究のテクニックとノウハウ、ピットフォールを凝縮した一冊を新たに発刊することで，より信頼性の高い価値ある研究がわが国から発信されることに寄与できればと考えております．

## 本号の出稿ポイント

- **日本のメタゲノム解析の第一人者による編集で，確実で信頼性の高いプロトコールを紹介します**

  編者はマイクロバイオーム分野の国際会議（IHMC）の大会長も歴任

- **マイクロバイオーム解析は多様な疾患解析で用いられる手法です**

  がん，免疫疾患，精神・神経疾患などさまざまなヒト疾患との関連が注目されています

- **本書の特徴はこちら：**

  ・プロトコールだけではなく，実験の戦略やコツ，正しい解釈法も充実

  ・データに基づいた説得力のある解説

  ・マイクロバイオームを総体として正しく捉えることを重視

＊特集・記事タイトルはすべて仮題

# 実験医学 広告掲載のご案内

## 発行概要

【発行形態】B5判/フルカラー/オフセット印刷　　【発行日】2025年5月予定　※発行日を延期する場合がございます

## 広告料金表（表示金額：税込）

| ページ広告 | 刷色 | スペース | 料金 |
| --- | --- | --- | --- |
| 後付 | ４色 | 1P | ￥220,000 |
| | | 1Pブリード | ￥242,000 |
| | １色 | 1P | ￥132,000 |
| | | 1/2P | ￥82,500 |

| ページ広告 | 刷色 | スペース | 料金 |
| --- | --- | --- | --- |
| 記事広告（詳細下記） | ４色 | 2P | 掲載￥440,000<br>編集￥ 88,000 |

・ご入稿後の修正には実費をいただきます
・掲載頁をご指定の場合は10%増の費用を申し受けます

| 複数掲載による割引 | 3回掲載 | 6回掲載 | 12回掲載 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 3%割引 | 5%割引 | 10%割引 |

・事前申込の場合のみ適用させていただきます
・掲載面は問いません

## お申込・原稿締切　※締切日程を変更する場合がございます

【広告申込締切】2025年4月17日（木）　【広告原稿締切】2025年4月23日（水）

## 広告サイズ

### ページ広告

・1頁　天地220mm x 左右150mm
・1頁ブリード※　天地257mm x 左右182mm　※仕上がりサイズのほかに広告4辺に塗り足し+3mmが必要
・1/2頁　天地105mm x 左右150mm

### 記事広告

**①貴社が完成原稿を用意する場合：**広告内（誌面右上など）に『PR記事』の旨ご明記ください．編集費は発生しません．

**②弊社が原稿製作する場合：**貴社ご用意の元原稿をもとに製作いたします．掲載費および編集費を申し受けます．詳細はお問い合わせください

## 原稿製作に際して

- Adobe社の製作ソフト（Illustrator等，ver.2021まで対応可）で製作のうえ，EPSもしくはPDFで納品ください．使用OS・ソフトのバージョンをお知らせください
- テキストは完全アウトライン化し，カラー形式をCMYKに設定ください．モノクロの場合はK版のみで制作 もしくはグレースケール化してください.
- 写真や図版は元ファイル（リンクファイル）を同送もしくは埋込処理ください
- トンボ等を用いて仕上がりサイズをご指示ください．ブリード（裁ち落とし）は仕上がりサイズのほかに広告4辺に塗り足し+3mmをご用意ください
- “オーバープリント設定”にご注意ください（テキストやオブジェクトが意図せず変化/消失する場合があります）
- 入稿後に原稿修正をご希望の際，費用が発生する場合がございます

## 広告審査・広告内容に関して

お申込・広告原稿入稿の段階で広告審査がございます（広告内容によって，原稿修正あるいは掲載お見送りいただく場合がございます）

## お申込・お問い合わせ

【発行元】　株式会社 羊土社　〒101-0052東京都千代田区神田小川町2-5-1
（TEL：03-5282-1211　FAX：03-5282-1212　E-mail：promo@yodosha.co.jp ）
【総代理店】株式会社エー・イー企画　〒532-0003大阪市淀川区宮原2-14-14新大阪グランドビル6F（大阪オフィス）
（TEL：06-6350-7162　FAX：06-6350-7164　E-mail：adinfo@aeplan.co.jp ）

# 本　書　目　次

序文 ...................................................................... 服部正平（早稲田大学）
：本書の特徴や企画の経緯，想定する読者へのメッセージなど

## 1章　マイクロバイオーム研究をはじめる前に考えること

1. 解析の全体像 ................................................... 服部正平（早稲田大学）
：マイクロバイオーム研究の全体像を紹介しつつ，解析において存在しうるピットフォール，出発点となるサンプル調製の重要性，得られたデータと他の階層のデータとの相関解析，など

2. データベースの意義とその整備 ................................ 黒川　顕（国立遺伝学研究所）
：マイクロバイオーム研究におけるデータベースの意義，その整備へのお取り組み，データベースの品質，データを利用する方や登録する方へのメッセージ，今後の課題と展望など

3. 細菌の分類と命名 ............................................... 坂本光央（理化学研究所）
：細菌分類法（16S 遺伝子と全ゲノムからの分類）の違い，2023 年における大規模な種分類の改訂に際して起こり得る諸問題．最新情報をどこに求めればよいのか．バイオリソースとしての菌株整備の重要性，など

## 2章　腸内微生物叢のマイクロバイオームデータの生産

1. 腸内細菌叢のメタゲノム（菌種，遺伝子）解析①
..................................... 関口勇地（産業技術総合研究所）・服部正平（早稲田大学）
：糞便採取～DNA 抽出（QC 含む）～ライブラリ調製・シークエンシング～データ解析のステップにつき，実験手法を例に，実験の注意点・ピットフォールを豊富に解説．JMBC 推奨プロトコールを適宜参照．NGS 及び質量分析機を用いた菌種特定法の紹介も．

2. 腸内細菌叢のメタゲノム（菌種，遺伝子）解析②（データ解析）
............................................................ 森　宙史（国立遺伝学研究所）
：シークエンシングにより得られた腸内細菌叢のマイクロバイオームデータ解析につき，NGS のタイプの違いや，16S rRNA 遺伝子のアンプリコン解析とメタゲノム解析の違いにも触れつつ，著者自身の解析方法を例に，解析の注意点・ピットフォールを豊富に解説．可能であれば，ファージ・プラスミドについてもふれていただく．

3. 腸内常在性ファージの解析・宿主細菌との相互作用
................................................. 藤本康介，植松　智（大阪公立大学/東京大学）
：腸内ウイルス叢・常在性ファージの解析法につき著者自身の手法を例に解説．可能な範囲でファージが感染する宿主細菌やファージがコードする溶菌酵素を特定するためのデータベース構築（展望を含めて）にもふれていただく．

4. 腸内環境のメタボローム解析
.............................. 池田和貴（かずさ DNA 研究所），舟橋和毅（株式会社メタジェン）
：腸内環境のメタボローム解析につき，著者自身の解析方法を例に，実験の注意点・ピットフォールを豊富に解説．菌種，遺伝子のデータとの相関解析や，定量解析におけるバッチ効果についてもふれていただく．

5. 腸内真菌叢のマイクロバイオーム解析 ............................... 秋山慎太郎（筑波大学）
：腸内真菌叢（mycobiome）の解析について，著者自身が現在進行中の潰瘍性大腸炎における菌-ファージ-真菌間のクロストーク解析を例に，細菌叢解析と異なる点を明示しながら，真菌叢解析における種の特定，実験・情報解析などの注意点・ピットフォールを解説．

## 3章　その他の微生物叢のマイクロバイオームデータの生産

1. 皮膚細菌叢のマイクロバイオーム解析 .................................. 松岡悠美（大阪大学）
：皮膚からのサンプル採取～DNA 抽出～ライブラリ調製・シークエンシング～データ解析のステップにつき，著者自身の実験手法を例に，ごく微量の試料の解析における実験の注意点・ピットフォールを豊富に解説．ピットフォールとして，菌量が少ないためコンタミネーションに留意しなければならないことを含めていただく．

2. 唾液細菌叢のマイクロバイオーム解析 .......................... 矢原耕史（国立感染症研究所）
：唾液からのサンプル採取～DNA 抽出～ライブラリ調製・シークエンシング～データ解析のステップにつき，著者自身の実験手法を例に，実験の注意点・ピットフォールを豊富に解説．菌量が少ないためコンタミネーションに留意すべきサンプルであることを解説に含めていただく．

3. 古代サンプルのマイクロバイオーム解析 .................... 澤藤りかい（総合研究大学院大学）
：古代サンプルからの DNA 抽出～ライブラリ調製・シークエンシング～データ解析のステップにつき，著者自身の実験手法を例に，目的配列よりもコンタミネーション配列が桁違いに多いサンプルの実験の注意点・ピットフォールを豊富に解説．

5. ロングリードを用いたヒト唾液非染色体遺伝エレメントの解析
.......................................................... 木口悠也，鈴木　穣（東京大学）
：ロングリード技術の解説に重点をおきながら，著者自身の実験手法を例に，実験の注意点・ピットフォールを豊富に解説．

## 4章　細菌株の性質の解析

1. 菌株単離・培養 ........................ 成島聖子（理化学研究所），坂本光央（理化学研究所）
：マイクロバイオーム解析から得られた興味のある細菌をいかに単離し培養するか，そのクライテリアと方法論を解説．

## 5章　異種データ間の相関解析

…いずれも，著者自身の研究を例にして．異なるレイヤーの大量データをいかにして関連付けて迅速に信頼度の高い解析を実行するか．アルゴリズムの構築のコツ，アウトカムを正しく選び出す心得を紹介いただく．

1.ヒト遺伝子（SNPs）とヒトマイクロバイオームの相関
...................................... 北岡寛己，岡田随象（東京大学/大阪大学/理化学研究所）

2.環境因子（薬剤，食事，年齢等）とヒトマイクロバイオームの相関
................................ 西嶋　傑（欧州分子生物学研究所），永田尚義（東京医科大学）

# 雑誌・書籍広告 掲載申込書

下記の通り，広告掲載を申し込みいたします．

| | |
|---|---|
| 申込日 | 年　　月　　日 |
| 掲載雑誌・書籍名 | 実験医学別冊「マイクロバイオーム研究の達人」 |
| 貴社名 | |
| 電話番号 | |
| ファックス番号 | |
| 郵便番号・所在地・建物名 | 〒 |
| ご担当者名 | |
| ご所属 | |
| 電子メールアドレス | |
| 掲載する広告内容 | ※具体的にご記載ください．可能であればウェブサイトURLもお示しください |
| 掲載場所・刷り色 | |
| 掲載ページ数 | |
| 掲載料金 | |
| お支払方法 | |
| 支払日 | |
| 実験医学・羊土社書籍への広告掲載について | □はじめて掲載する　□過去に掲載したことがある　□過去に掲載したか不明<br>※当てはまるものをご選択ください |
| 備考 | |

**【ご注意事項】**

- 広告原稿の仕様（スケジュール・サイズ・原稿製作のご注意点など）は，別紙企画書・要項等をご参照ください
- 広告審査・広告内容に関して：①お申込時，②広告原稿入稿時に広告審査がございます（広告内容によって原稿修正あるいは掲載お見送りいただく場合がございます）

**【お申込・お問い合わせ先】**


**［発行元］**

株式会社 羊土社　企画営業推進部（担当：丸山）
〒101-0052東京都千代田区神田小川町2-5-1
TEL: 03-5282-1211　FAX: 03-5282-1212　E-Mail: promo@yodosha.co.jp

**［広告総代理店］**

株式会社 エー・イー企画
〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6F（大阪オフィス）
TEL: 06-6350-7162　FAX: 06-6350-7164　E-mail: adinfo@aeplan.co.jp